

かぞえることば

2年 2学期 10ばん

なまえ

ものをかぞえるとき、日本語では、ものによってかぞえることばがかわります。ものの形やなかまに合わせて、ことばをえらぶのです。

犬やねこのような生きものは、「一匹き、二匹き」とかぞえます。紙やおさらのような、うすくてたいらなものは、「一まい、二まい」とかぞえます。

えんぴつやかさのような、ほそくて長いものは、「一本、二本」とかぞえます。車は「一だい、二だい」とかぞえます。

鳥は生きものですが、「ひき」ではなく、「一わ、二わ」とかぞえます。

みのまわりのもののかぞえ方も、さがしてみしましょう。



(1) 「たいらな」のいみに合うものを一つえらび、記

ごうに○をつけましょう。

ア まるくて、ころころした

イ でこぼこがなく、ひらたい

ウ ほそくて、長い

エ やわらかくて、ふわふわした

(2) 「一本、二本」とかぞえるものはどれですか。一つ

えらび、記ごうに○をつけましょう。

ア おさら

イ ねこ

ウ 車

エ えんぴつ

(3) 「一匹き、二匹き」とかぞえるのは、犬やねこのよ

うな何ですか。文しようから四字で書きぬきましょう。

(4) 鳥は、どのようにかぞえますか。書きましょう。

書き方のヒント
四つ目のだんらくの「鳥は」からはじまる文を見てみよう。
「〜とかぞえます。」でおわらせる。

かぞえることば

こたえ

2年 2月 10日

なまえ

ものをかぞえるとき、日本語では、ものによってかぞえることばがかわります。ものの形やなかに合わせて、ことばをえらぶのです。

犬やねこのような生きものは、「一匹き、二匹き」とかぞえます。紙やおさらのような、うすくてたいらなものは、「一まい、二まい」とかぞえます。

えんぴつやかさのような、ほそくて長いものは、「一本、二本」とかぞえます。車は「一だい、二だい」とかぞえます。

鳥は生き物ですが、「ひき」ではなく、「一わ、二わ」とかぞえます。

みのまわりのもののかぞえ方も、さがしてみましよう。



(1) 「たいらな」のいみに合うものを一つえらび、記

ア まるくて、ころころした

イ でこぼこがなく、ひらたい
ウ ほそくて、長い

エ やわらかくて、ふわふわした

(2) 「一本、二本」とかぞえるものはどれですか。一つえらび、記

ア おさら

イ ねこ

ウ 車

エ えんぴつ

(3) 「一匹き、二匹き」とかぞえるのは、犬やねこのような何ですか。文し

生きもの

(4) 鳥は、どのようにかぞえますか。書きましよう。

(れい)「ひき」ではなく、「一わ、二わ」とかぞえます。

書き方のヒント

四つ目のだんらくの「鳥は」からはじまる文を見よう。
「〜とかぞえます。」でおわらせる。

解答・解説 かぞえる ことば（2年・ごく）

もん 問1 イ

二つ目の だんらくに「紙^{かみ}や おさらの ような、うすくて たいらな もの」と 書いて あります。紙^{かみ}や おさらの ように、でこぼこがなく ひらたい ようです。

もん 問2 エ

三つ目の だんらくに「えんぴつや かさの ような、ほそくて 長い^{なが} ものは、『一本^{いっぽん}、二本^{にほん}』と かぞえます」と 書いて あります。おさらは「まい」、ねこは「ひき」、車^{くるま}は「だい」で かぞえます。

もん 問3 い 生きもの

二つ目の だんらくに「犬^{いぬ}や ねこの ような 生きものは、『一^{いっ}ぴき、二^にひき』と かぞえます」と 書いて あります。

もん 問4 （れい）「ひき」ではなく、「一^{いち}わ、二^にわ」と かぞえます。

四つ目の だんらくに「鳥^{とり}は 生きものですが、『ひき』ではなく、『一^{いち}わ、二^にわ』と かぞえます」と 書いて あります。「わ」をつかって かぞえる ことが 書^かけて いれば ○です。